

## 子どもの主体的な学びを引き出す放送番組の活用

神奈川県川崎市立平間小学校 教諭 宮崎 誠

### 小学校3年 社会科 コノマチ☆リサーチ

#### 番組の特徴

社会の中で「衣・食・住」を支える仕組みや仕事に焦点を当て、そこで働く人々の工夫を調べていく番組である。普段なかなか目を向けることのない“まちのひみつ”に、子どもたちが気付き、社会的なものの方・考え方を身に付けていくことをねらっている。

#### 研究の概要

子どもたちは、初めて学習する社会科に大きな期待をもっており、活動に意欲的に参加することができる。しかし、活動そのものに気を取られ、何を学ぶのかが理解できていない子もいる。本研究では、スーパーマーケットの見学をする際に、番組を活用し、お店の工夫について友達と情報をやり取りしながら調べ、質問を考える活動をした。課題が明確になり、主体的に活動に取り組みさせることができた。

#### 授業デザイン（1 単位授業時間）

単元：買い物を見直そう

目標：よりよい生活を求める消費者や、販売に携わる人々が様々な工夫や努力をしていることを理解する。

導入	スーパーマーケットではどのような工夫をしているのだろう。インタビューするために、工夫を調べ、質問を考えよう。
課題把握	学習課題「スーパーマーケットのくふうを調べよう」
番組視聴	「スーパーマーケットのひみつをさぐれ」
自力解決	グループの中で4つの課題に分かれ、動画クリップで調べる。 ・買い物をしやすくするひみつ ・たくさんの人に来てもらうひみつ ・いろいろな人に買ってもらうひみつ ・商品をたくさん買ってもらうひみつ
協働解決	課題ごとに調べてきたことを、グループの友達と共有する。
まとめ	共有したことをもとに、さらに知りたいことを質問にしてプリントにまとめる。



#### 番組や関連動画クリップの活用意図

##### 課題を持つための番組視聴

「コノマチ☆リサーチ」では、スーパーマーケットの工夫を「サービス」「利便性」「取り扱う商品の種類」「仕入れ」といった、あらゆる角度から取り上げている。番組視聴を通して、普段子どもたち気付かない視点を与えることで、自己解決につなげるための課題を持たせることができる。

##### 自力解決のための動画クリップ

番組にはスーパーマーケットの工夫に関連する動画クリップが豊富にリンクされている。課題を絞り、動画クリップの映像や音声、テロップから情報を集めることで、必要な情報を焦点化して収集することができる。

#### 思考の可視化にかかわる教師の工夫

##### 板書でのグラフの活用

前時では、家庭学習を利用して「どのお店が多く利用されているか」を調べ、集計してグラフにした。単元を通して掲示することで、なぜスーパーマーケットを調べるのかを理解し、目的意識を明確にもたせられるようにした。

##### 小集団での話し合い活動

違うグループの同じ課題をもった子ども同士で集まり、4人で一台のタブレットPCを利用して動画クリップを視聴する。それぞれが気付いたことを一枚の画用紙で共有しながら、調べることで、より多くの情報を得ることができた。

#### 生き生きと学ぶ子どもの姿

##### 子どもの考えた質問から

- 本当に一万種類の商品があるのですか。
- なぜ駐車場ではなく、駐輪場を作ったのですか。
- なぜ店頭には野菜ではなく焼き芋があるのですか。

##### 子どもの自己評価から

- 近所のスーパーマーケットと番組を比べてみたいと思った。
- 本当にレジの近くに重い商品があって驚いた。
- 動画クリップが、とても分かりやすかった。

##### 同僚の評価

- 事前にスーパーマーケットのイメージをもつことができ、的外れな質問や、聞かなくても分かるような質問がなかった。

#### 実践を終えて

スーパーマーケットの見学の前に、工夫を調べ、「これをもっと知りたい」といった、目的意識をもって質問を考えることで、より深い内容の質問をすることができた。また、お店の人の回答に対しても、より高い関心をもって耳を傾けることができていた。こうした学習の積み重ねが、「主体的な学び」を育てることにつながると感じた。教科・単元をまたがって子どもが必然性や課題意識をもてるような授業デザインをすることの必要を確認した。